

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23877
事業名	民間公共的施設バリアフリー化推進費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 障がい福祉課			電話番号	011-211-2936
施策名	建物や道路などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入が					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	福祉のまちづくりを推進するため、条例に基づく民間事業者への財政的支援として、平成12年度からバリアフリー整備に係る融資制度を開始したが、低金利等を背景に新規貸付実績が減少した。こうした背景から、インセンティブ効果が期待できる支援策を検討するため、民間公共的施設を営む市内事業者を対象に実態調査を実施し、小規模施設ほどバリアフリー化が進んでいない傾向や、バリアフリー整備の意向に影響するプラス要因(補助制度)等を把握したことから、令和3年度に補助制度を創設した。
	事業内容(何を実施し)	障がいのある方や高齢の方などが、安全で快適に利用できるバリアフリー整備のため、以下の内容とする補助制度の活用を図り、民間公共的施設のバリアフリー化を推進する。 ・補助対象建築物 床面積が2, 000㎡未満の公共的施設(物販・飲食店、医療施設等) ・補助内容 上限150万円、補助率3／4、交付想定件数20件 ・申請要件 ①福祉のまちづくり条例の整備基準レベルの整備 ②建築士による相談窓口の利用(北海道建築士会へ委託) ・その他 交付決定は選考による。 【令和5年度の事業結果】 窓口相談利用件数: 28件(内申請数: 14件) 交付決定数: 13件(想定件数: 20件)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	市民が身近に利用する公共的施設のバリアフリー整備が進むことにより、地域の生活環境が改善されるとともに、バリアフリーに対する意識の醸成につながり、「まちのバリアフリー化が進んでいると感じる市民の割合」が増加する。
	他都市の状況	函館市「函館市福祉のまちづくり施設整備費補助金」、練馬区「福祉のまちづくり整備助成事業」 葛飾区「民間建築物バリアフリー化整備費の助成」等
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	11,561 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.75 人工
令和5年度予算額	24,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.75 人工
令和5年度決算額	15,366 千円	うち特定財源	4,241 千円	正規職員業務量	0.75 人工
令和6年度予算額	24,000 千円	うち特定財源	8,889 千円	正規職員業務量	0.75 人工

指標	アウトプット活動指標1	整備件数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8	20	23	20	20	
	↓						
	アウトカム成果指標1	整備件数(実交付数)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8	20	13	20	20	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	新型コロナウイルス感染症の影響や当初3年間の広報周知活動が単に事業の紹介に留まるなど事業目的の浸透が不十分などの要因により、目標値を達成するに至らなかった。今後は、一級建築士による出前広報の強化や有望な顧客リストを持つバリアフリー改修施工業者へのアウトリーチの拡充等を行っていく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	国土交通省のバリアフリー環境整備促進事業による国庫補助の活用により、補助対象整備・補助率の見直しのほか、一級建築士による出前広報の強化等を行い、補助金活用の充実を図った。
来年度以降の方向性	バリアフリー改修を実施する施工業者や有望な企業等に対する直接的な周知を行うなど、補助事業の活用を促すよう働きかける仕組みを検討する。